

ことぶき

## 寿-105改修工事がスタートします。

### ●寿-105とその背景

寿-105は大阪市営日之出第3住宅1号棟105号室の愛称です。日之出地区の市営住宅では、すでに日之出住宅1号館106号室が団地の集会室的使用として許可を得、モーニング喫茶他多様に活発に活用されています。寿-105は「コミュニティ活動に寄与する場合は住宅以外の目的外使用」をしても良いという、公営住宅としては画期的な(次世代の地域コミュニティ形成に寄与するような)位置づけがされています。

昨年来、大阪市の許可を受けていたにもかかわらず、資金不足、日常業務・活動の多忙さ他の要因で適切な活用に踏み切れずにいました。1年以上にわたる家賃支出の問題もあり、寿-105の活用はギブアップ寸前の状態が長く続いていました。

今年度の継続申請を行うに際しCMA内部でもいろんな意見が出ましたが、「当初の目的に向かって再度頑張ろう」という意見が大勢を占め、継続申請を行った結果、大阪市から許可を受けることが出来ました。申請者は特定非営利法人JUMPであり、日之出住宅を中心とした地域活動でも協力関係にあるCMAが実質の活用・運営にあたる構図は従来どおりですが、寿-105の改修整備が実現されることで、2者の協力関係強化はもちろん、本来的な地域活動拠点形成に向けての新たなスタートにつなげていくことが期待されます。

所在地：大阪市東淀川区西淡路2-1

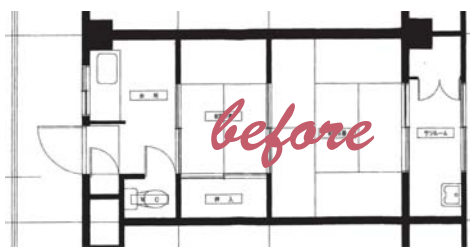
### ●改修計画の概要

地域活動拠点形成に向けての具体的な改修計画の内容は

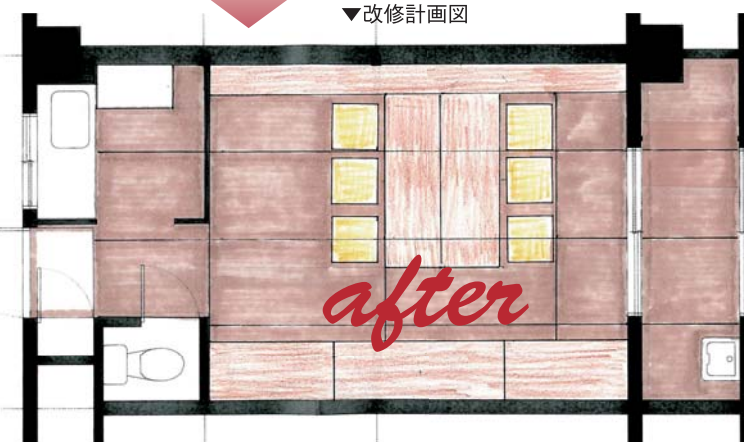
- ① CMA本部としての事務・会議スペースの確保  
：CMA本部はCASEまちづくり研究所から移転いたします。
- ② 地域に開放されたコミュニティ図書室(CMA文庫)の設置  
：コミュニティ関係の書籍他を充実させたいと思っておりますが、予算不足ですので、

お手持ちの書籍他のご協力をお願いいたします。

- ③ ①②の結果、地域のささやかなサロン・活動拠点(CMA会員にとっても)の実現：食器の確保他も苦戦すると思っておりますので、みなさまのご協力をお願いいたします。リサイクル自転車の展示(販売)も一角で行います。といったところです。



▲寿-105の現況写真



▼改修計画図

トイレ・台所以外の全てを解体・撤去した後に、昨年の「水都大阪2009・つるむde大阪」の会場で使用した足場板・構造用合板を主体とした暖かい空間の創出を考えております。工事はCMA会員の多忙さを考慮するとともに、速やかな完成を実現するため

に西村建築工房の協力を得ることにしましたが、工事費節減のためCMA会員の協力がかせません。会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

### ●寿-105を拠点とする活動の方向性

大阪市への許可申請書に示された活動予定には、以下の内容が示されております。本年度の活動は、これまでの取組の中から、特に本住宅周辺地域における重要な課題の一つである自転車問題に焦点をあて、①自転車教室を通じての子ども達と多様な人々との交流の実現 ②地域の新たなモビリティの構築手段であり、環境共生の点でも優れた自転車の可能性についての研究・啓発 ③地域の重要課題である駐輪等の自転車問題の改善 ④コミュニティビジネス創出のきっかけとしてのリサイクル自転車の検討 ⑤生活相談等によって繋がりだした団地住民とのつながり推進(申請書よりの抜粋)

寿-105の改修を契機に、本住宅周辺地域のコミュニティ活動拠点の強化、コミュニティ活動推進の一翼を担うCMA拠点の整備が強力にスタートしようとしています。設

立されて1年3ヶ月を経過したCMAにとっても新たなスタートという感を抱いております。

工事期間は10月15日から30日頃の2週間程度を考えておりますので、10月末頃には「新居」

で皆様とお会いできることを楽しみにしております。改修工事の進捗にあたってはCMA会員各位のご協力を必要としています。なにとぞよろしくお願いいたします。

## 第2回CMA西鳥取バス輪行ツーリズム【実施日:12月4日(土)~5日(日)】

CMAバス輪行ツーリズム第2弾は当初「尾道しまなみ海道」ツアーを予定していましたが、来年夏の「海フェスタ尾道」に合わせて計画を変更しました。そこで今回は、鳥取県智頭町でむら・まち交流活動を主宰される西村さんに協力いただき「西鳥取くむら・まち交流」バス輪行ツーリズムを実施します。

[概略コース]

12月4日(土):大阪⇒佐用インター⇒佐

用町めぐり(平福・宮本武蔵の里他)⇒(バス)⇒智頭町「なぎ農楽校」:見学&宿泊

12月5日(日):「なぎ農楽校」⇒(バス)⇒天神川倉吉自転車道終点⇒(自転車走行)⇒境港:昼食&みやげ物購入⇒(バス)⇒大阪

宿泊は「なぎ農楽校」の宿舎に活用されている、元町長の民家(築百年)。無農薬栽培の掘りたての里芋、大根を、無農

薬米と大豆で仕込んだ柚子味噌でいただきます。味噌樽でできる希少の上澄み醤油で、手作り豆腐や刺身こんにゃくを味わいます。2日目はゲゲゲの境港で旬のカニ、日本海の幸に堪能する計画です。定員25名になり次第締め切らせて頂きますので、早めにお申し込み下さい。申込み書等詳細は近々チラシでご案内いたします。

●参加費用/CMA会員:23,000円  
サポート会員:26,000円



▲境港・水木しげるロード <http://www.highlight.jp/mizuki-road/index.html>



▲大原宿本陣(有本家)約200年前の建築 [wikipedia](http://wikipedia)

### 大槻並(おおつくなみ)里山下見ポタリング実施【9月19日】

来年2月予定の第3回自転車市民ホリデイ「大槻並里山再生見学ポタリング」の下見を兼ねてトラ(小山)、ケロヤン(井上)、デビヤン(石倉)の3人で試走してきました。集合場所の谷町四丁目から約45kmの距離に位置する亀岡市大槻並の里山まで往復90km。

ここでは薪を燃料にしている、わずか8戸の小さな村。京都学園大学やボランティアの人々が、日本の原風景である里山再生に向けて協働で育てています。CMAでも連携の可能性を探りたいと考えていました。幸いにも築200年という中島邸の中島さんにお会いすることができました。京都と大阪にまたがる北摂山地はサ

イクリングのメッカでもあり、今秋には北摂ポタリングと中島邸の整備を兼ね、1泊2日での懇親会を実施したいと思います。(詳細は次号)



自転車市民倶楽部 小山 勝己

### 会員リレー・メッセージ

#### どこにそんなお金が?

少し前の話になりますが、総務省統計局が8月27日まとめた2009年の「家計調査年報(貯蓄・負債編)」によると、09年の2人以上世帯の貯蓄高は1世帯あたり平均1,638万円で前年(1,680万円)に比べ2.5%の減少となったそうです。このうち勤労者世帯の貯蓄高は前年比3.8%減の1,203万円だったそうです。貯蓄高別の世帯分布をみると、平均を下回る世帯が約3分の2を占め、低い方に偏った結果となったようです。

本当にこんなお金があるのでしょうか?と自分の懐を心配しているのは私だけ?

CMA監事 酒井 誠

西 淡 路  
2  
丁 目

大槻並に同行しました。母の生地、兵庫・播州と但馬の境界にそびえる段ヶ峰の麓、朝来市奥田路(あさごし・おくとうじ)の風景に似て、子供の頃になれ親しんだ野山を味わいことができました。阿倍野区播磨町から安威川の源流まで104.77km。100km越え走破は初めての体験でした。動物ネーム、正式に拝受!(デビ)

発行 一般社団法人 コミュニティマネジメント協会  
〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路1丁目3-26  
弥生新大阪第一ビル401 CASEまちづくり研究所内  
電話:06-4862-7844 FAX:06-4862-7866  
<http://www.cma-web.net>